



高等動物の神経発達に対する内分泌攪乱化学物質の影響に関する研究

研究代表者： 吉川 泰弘 YOSHIKAWA, Yasuhiro, DVM, PhD

東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻教授

内分泌攪乱物質の何が問題なのか？

高等動物への影響は？ 中枢神経系への作用は？ よくわかっていないのが現状

動物種差の外挿データが最初に必要

動物の種差を考慮した解析の重要性 比較生物学的解析手法

メカニズム解析のための培養系の利用

in vitro 研究の有用性

動物モデルとしてのラットの有用性

毒性学分野で基礎情報が最も多い 扱いやすい 容易に入手可能

霊長類での影響評価

とは言っても、ヒトへの外挿を考えると霊長類を用いた研究が不可欠

高等動物における内分泌攪乱物質の神経系への影響評価システム

